

6. 上育 393 号

種 苗 登 録 第 1797 号
番 号

登録年月日 昭和63年12月13日

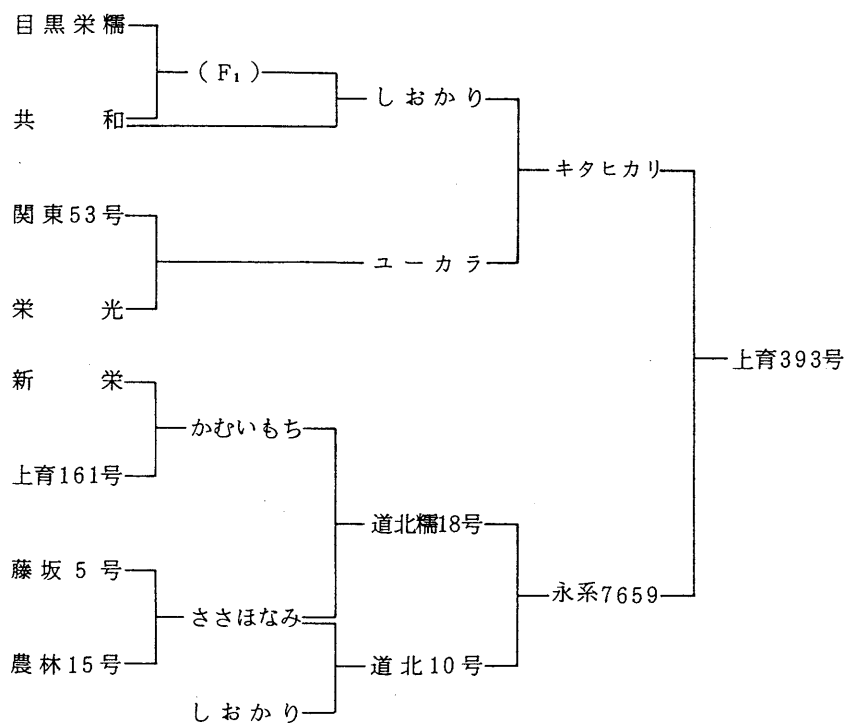
旧 系 統 名 上 育 393 号

育 成 場 所 上 川 農 業 試 験 場

1. 来 歴

「上育393号」は、昭和52年、北海道立上川農業試験場において、早生良質耐冷性品種の育成を目標に、中生の良質品種「キタヒカリ」を母とし、早生でやや良質耐冷性の「永系7659」を父として人工交配を行った雑種後代から育成された。F₁は、昭和52年に冬期温室で養成し、F₂・F₃は本田で集団栽培し、昭和55年、F₄で個体選抜を行い、昭和56年、系統選抜を行った。昭和57年以降は「上系8258」として、系統の選抜固定を図るとともに、生産力検定試験並びに特性検定試験を実施した。昭和59年から「上育393号」の地方番号を付し、関係機関に配布し、翌年、奨励品種決定現地調査に編入して、地方適否を検討してきた。その結果有望と認められ、昭和62年に北海道の奨励品種に採用された。

系 譜 図



2. 特性の概要

稈長は「ともひかり」並かやや長い。穂長は「はやこがね」「キタアケ」より長いが、「ともひかり」より短い。穂数は「ともひかり」よりやや少ない。出穂期前後の草状は、葉巾が「キタアケ」よりやや狭く、葉色は「キタアケ」並でやや濃い。止葉は「キタアケ」「はやこがね」よりやや垂れるが、草姿は良好である。無芒で、稃先色は黄白である。割刈は「はやこがね」「キタアケ」並に低率である。

出穂期は「はやこがね」よりやや晩く、「キタアケ」並の早生の中に属する。成熟期は「ともひかり」より早く、早生の中に属する。障害型耐冷性は「ともひかり」より強く、「キタアケ」「はやこがね」並かやや劣る“強～やや強”。いもち病耐病性は葉いもち病は「はやこがね」「キタアケ」よりやや弱く“中”。穂いもち病は「ともひかり」よりやや強く、「キタアケ」並の“やや強”。耐倒伏性は「キタアケ」より劣り、「はやこがね」並の“中～やや強”。玄米収量は「はやこがね」より高く、「キタアケ」並である。

粳種で、粒長は「はやこがね」「キタアケ」より長く、粒巾は「キタアケ」より狭く「ともひかり」並である。千粒重は「はやこがね」より重いが「キタアケ」より軽い。腹白は「はやこがね」並で光沢は良く、玄米品質は「キタアケ」「はやこがね」「ともひかり」に勝る。搗精歩合は「はやこがね」「キタアケ」並で、白米の白度は「はやこがね」よりやや高い。食味は「はやこがね」「キタアケ」に優り「ともひかり」を上回り「ゆきひかり」に近い。

3. 適地等

「上育393号」は玄米品質が、「はやこがね」「キタアケ」を上回り、食味は「ゆきひかり」に近い良食味で、収量性は「キタアケ」並であるから、北海道道東、道北地帯及びこれに準ずる地帯の「はやこがね」「キタアケ」の一部にかえて栽培することによって、当該北帯の良質、良食味米の生産を図る。

奨励品種採用：北海道（昭和62年～）

4. 栽培上の注意

- (1) 出穂期は早生の中であるが登熟性が劣るので中苗以上を用い、生育の遅れる地帯では成苗を用いる。
- (2) 耐倒伏性といもち病耐病性が不十分なので多肥栽培を避け、適期防除を行う。
- (3) 穂数確保が難しいので植付け株数は25株/㎡以上とする。
- (4) 障害型耐冷性は強い方であるが「キタアケ」より劣るので適切な水管理を励行する。

5. 育成者氏名

和田 定（交配～F₂）、佐々木多喜雄（交配～F₈）、佐々木一男（交配～F₃, F₉～F₁₀）、沼尾吉則（交配～F₈）、本間 昭（交配～F₃）、新橋 登（交配～F₃）、柳川忠男（F₄～F₁₀）、相川宗巖（F₉～F₁₀）

6. 試験成績

(1) 特性調査

品 種 名	出穂期	成熟期	草 型	稈		芒		稈先色	玄 米				
				細太	剛柔	多少	長短		稈糯	粒形	大小	光沢	品質
上 育 393 号	早中	早中	偏穂数	中	ヤ剛	無	一	黄白	粳	ヤ長	中	良	上中下
(比) はやこかぬ	早早	早早	穂数	ヤ細	中	稀	短	黄白	粳	ヤ円	ヤ小	良	上下上
(比) キタアケ	早中	早中	穂数	中	ヤ剛	稀	短	黄白	粳	ヤ円	中	良	上下中
(比) ともひかり	早晩	早晩	偏穂数	中	ヤ剛	無	一	黄白	粳	中	中	良	上下中

(2) 生育・収量調査（育成地）

栽培法	品 種 名	出穂期 (月日)	成熟期 (月日)	成 熟 期			倒伏 多少	不稈歩合 (%)	割籾歩合 (%)	玄米収量 (Kg/a)	同左比率 (%)	玄 米	
				稈長 (cm)	穂長 (cm)	穂数 (本/m ²)						千粒重 (g)	等級
中苗標肥	上 育 393 号	7.28	9.8	67	17.1	621	無	9	34	54.6	105	21.3	1中
	(比) はやこかぬ	7.27	9.3	59	14.2	785	無	8	33	52.0	100	20.2	1中
	(比) キタアケ	7.29	9.5	60	15.0	735	無	7	32	54.9	106	22.3	1下
	(比) ともひかり	7.30	9.12	65	17.9	672	微	14	56	58.3	112	21.0	1中
中苗多肥	上 育 393 号	7.28	9.11	73	17.4	800	微	16	41	60.7	109	20.2	1下
	(比) はやこかぬ	7.27	9.7	63	14.6	910	少	13	42	55.5	100	19.5	1下
	(比) キタアケ	7.28	9.9	65	14.5	842	無	13	38	59.6	107	21.5	1下
	(比) ともひかり	7.31	9.15	72	18.1	715	微	14	63	61.8	111	20.2	1中

注 1) 試験年次：'84～'86年。

2) N量 (Kg/10a)：標肥 10，多肥 15

3) 栽植密度：株数 20/m²，1株本数 4

(3) 特性検定試験

品 種 名	耐 冷 性		い も ち 病		
	障 害 型	遅 延 型	葉 い も ち	穂 い も ち	遺伝子型推定
上 育 393 号	強～ヤ強	中	中	ヤ強	Pi-a, k
(比) はやこかぬ	強	中	ヤ強	ヤ強	Pi-a, k
(比) キタアケ	強	中	ヤ強	ヤ強	Pi-a, k
(比) ともひかり	ヤ強	一	中	中～ヤ強	Pi-a

(4) 食味試験（上川農試）

品 種 名	外 観		感 触				総 合 評 価	試 食 人 数	備 考
	白 さ	光 沢	なめらかさ	軟らかさ	粘り	味			
上 育 393 号	-0.10	-0.26	-0.07	-0.07	-0.10	-0.08	-0.01	11	基準：ゆきひかり
(比)キタヒカリ	-0.10	-0.03	-0.24	-0.33	-0.30	-0.21	-0.36		6回平均
(比)ともひかり	-0.04	-0.16	-0.09	-0.01	-0.21	-0.15	-0.22	15	(キタアケ：1回)
(比)キタアケ	-0.13	0	-0.67	-1.00	-0.47	-0.75	-0.73		